

Rotary Club of Sanuma

2024-2025年度 VOL 61

# 週報

佐沼ロータリークラブ

2024-2025テーマ

ロータリーの活動で 自分を変化させよう

ロータリーのマジック

2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

会長 太田 陽平  
 幹事 大畑 好司  
 会報 猪股 育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼  
 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼  
 ☎22-8180 FAX22-0327



## 第2928回例会 2024. 10. 10 No.14

### 本日の出席率

・本日の出席率 100%

### ニコニコボックス

- ・太田陽平会長 本日は杉田広仁会員の卓話です。よろしくお祈りします。
- ・杉田広仁会員 本日、卓話の当番です。よろしくお祈りします。
- ・八谷郁夫会員 杉田広仁会員、スピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 杉田広仁会員のスピーチ楽しみにしております。
- ・千葉正宏会員 マイク要らずの大変通る声での杉田広仁会員の卓話、勉強させていただきます。
- ・伊藤幸子会員 日々秋らしくなってきました。昔は10月10日は体育の日。今の時代はいつが体育の日かわからない!! 今日のスピーチ、杉田広仁会員の楽しいお話が聞けそうです。楽しみです。
- ・伊藤秀雄会員 杉田広仁住職のおもしろい話、今回も期待して居ります。
- ・大畑好司幹事以下 本日のスピーチに期待して。  
 佐々木崇会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員  
 遠藤光則会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員  
 岩渕正彦会員 高橋利光会員 布施孝尚会員  
 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員 加藤亮会員  
 佐藤早智子会員 佐藤哲弥会員 關孝会員  
 村上正弘会員 及川幾雄会員 岡本健一会員  
 原田桂会員

以上、ありがとうございました。

### 会長要件 太田陽平会長

今日は、10月10日、私が小さい頃は「体育の日」ということで毎年運動会の日だったと覚えております。1964年東京オリンピックの開会式が10月10日だったことで制定されました。現在は10月第2週の月曜日「ス

ポーツの日」となっております。

10月6日(日)産業フェスティバルが開催されました。村上正弘職業奉仕委員長、関係の会員の方々、10月4日~6日まで準備、運営大変ご苦勞様でした。

衆院は第214臨時国会会期末の9日に解散され、与野党は事実上の選挙戦に突入することになりました。「15日公示、27日投開票」の日程で行うことを決定。

2022年(令和4年)公職選挙法改正以降の区域は、石巻市、東松島市、牡鹿郡などが4区に移行したいっぽうで、6区の廃止により県北部のほとんどが5区となりました。区割の変更によって大崎市、気仙沼市、登米市、栗原市など9つの市と町に再編されました。

宮城5区は、面積では宮城県の半分、東京都の約1.5倍です。344,329人で1,519倍(一票の格差・鳥取1区との比較)となっております。今回の選挙では3名が立候補を表明しております。大変でしょうが頑張ってくださいたいと思います。

私たちは、この一票をしっかりと地域に反映できるように投票行動をして、町づくりの一環とさせていただきます。

### 幹事報告 大畑好司幹事

- ・ロータリー日本財団より  
 ポール・ハリス・フェローのバッジが届く
- ・登米市絵本原画展実行委員会より  
 第22回登米市絵本原画展開場式の案内  
 日時 11月13日(水) 10:00~  
 会場 水の里ホール、正面玄関ホール
- ・加藤雄彦ガバナーエレクトより  
 2520地区ガバナーエレクト事務所開設の案内  
 開設日 2024年10月1日  
 所在地 宮城県仙台市青葉区本町1-1-8  
 第一日本オフィスビル8階4号  
 TEL:022-224-0151 FAX:022-224-0152  
 開所時間 9:00~17:00(土日祝日は休み)

### 各委員会報告

#### ・職業奉仕委員会(村上正弘委員長)

##### 1. 産業フェスティバルについて

皆様のご協力のお陰で、今年度も無事に産業フェスティバルのブースに出展をすることが出来ました。準備や設営にご協力いただいた会員及びブースにお立ち寄りいただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げます。

##### 2. 職場訪問例会について

次週はご案内の通り移動例会となっております。出欠の返事がまだの会員は今日中にご連絡をお願い致します。

#### ◎バッジの授与(ポール・ハリス・フェロー)

猪股育夫会員へ PHF + 7 (8回)



猪股育夫会員へPHFバッジ授与

### 今週のスピーチ

「俳句について — 第4回」

杉田広仁会員

今日は、俳句と川柳についてお話させていただきたいと思っています。

俳句といいますが常に芭蕉という名前が出てまいります。私も芭蕉の句と言うと「古池や 蛙とび込む水の音」「静かさや 岩にしみ入る 蟬の声」「夏草や つわものどもが 夢のあと」等の句をすぐに思い出します。芭蕉は「俳諧は老後の楽しみなり」と言っております。私も今74歳ですが75歳になって後期高齢者の仲間入りとなろうかと思っております。芭蕉は「初めての老」という言葉も使っております。辞書で「初老」を引いてみますと、40歳のことを言うのですね。

俳句については、前にもお話しましたが、3つの基本があります。①なるべく「五・七・五」の十七音で作る。②「一句一季語」を意識する。③「切れ字」をうまく使う。何故、切れ字を使うかと言うと、簡潔性を得るためと言われております。韻文の詩形を作るのだと言われております。散文に対して韻文、知らなければいけない。ロータリーの友にも俳壇、歌壇、柳壇というのがございます。

#### ○俳句

1. 俳諧の句。こっけいな句。
2. 五・七・五の十七音を定型とする短い詩。

連歌の発句の形成を継承したもので、季題や切れ字を読み込むのをならいとする。明治中期、正岡子規の俳諧革新運動以降に広まった呼称であるが、江戸

時代以前の発句を呼ぶこともある。短歌と共に日本の短詩型文学の二潮流。定型・季語を否定する(自由律)する主張もある。

#### ○川柳

川柳点の略。前句付から独立した十七文字の短詩。江戸中期、明和(1764~1772)ごろから隆盛。発句と違って、切れ字、季節などの制約がない。多く口語を用い、人情、風俗、人生の弱点、世態の欠陥等をうがち、簡潔、滑稽、機知、諷刺、奇警が特色。江戸末期のものは低俗に墮し、狂句と呼ばれた。

#### ○川柳点

柄井川柳が前句付に施した評点(点数)。また、その選句。略して「川柳」とも言う。

#### ○柄井川柳

江戸中期の前句付点者。江戸浅草の人。1757年(宝暦7年)「川柳評万句合」を発行。他の点者を圧倒する名声を得た。その撰句を川柳点、のちには単に川柳と称した(1718~1790)。

「広辞苑」より

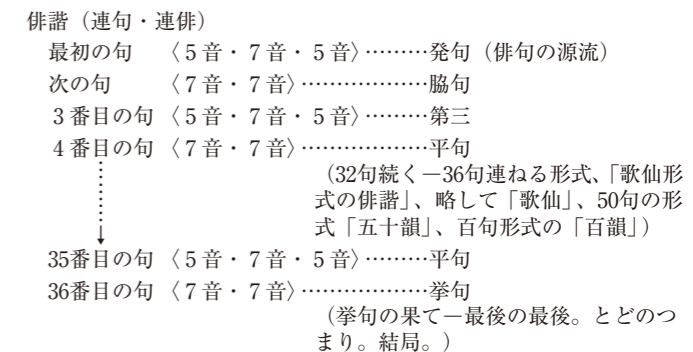
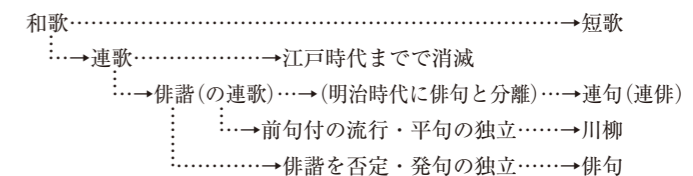
もともと川柳に対して点数を付けたところからきておるみたいです。現在では、川柳の時に口語体を使いますが、江戸時代の柄井川柳の頃は、文語体の文法を使っていたのではなかろうかと思っております。

この俳句、川柳は平安時代の和歌が現在は短歌という形で作られています。この和歌から形を変えたのが連歌です。いわゆる五・七・五、そして七・七の流れを何人かで詠むのが連歌です。連歌は鎌倉時代に盛んになり、室町時代に隆盛を迎えました。

その連歌の形を変えて、どちらかというど庶民的、世俗的になってきたものが、江戸時代に入って俳諧というものになった。俳諧も連歌の流れをくんでおりますから、五・七・五・七・七、五・七・五・七・七と繰り返し詠んでいく形をとります。

芭蕉は俳諧の発句の部分(五・七・五)を読んで名声を得ました。その流れの中で川柳というものが生まれてまいります。

俳句は、俳諧を否定し発句を独立させた正岡子規が作り出した言葉です。俳諧の発句から派生したものの。



○参考文献一復本一郎監修『俳句入門講座一俳句の基本とは一』